

2022年度 教員配置表

2022/4/1

	文学部				教育学部		生活創造学部		心理相談センター	合計
	国際英語学科	史学科	心理学科	日本文化学科	幼児教育学科	児童教育学科	生活文化学科	観光文化学科		
教授	1 菱田 信彦 2 ウィリアム・キスチャック 3 篠田(小泉) 朝子 4 5 6 7	学部長 高津 純也 塩谷 修 辻 浩和 原田 晶子	副学部長 鶴沼 秀行 西川 将巳 田中 裕 今井 正司 桂 瑠以 簗下 成子	長崎 靖子 岩崎 利彦 眞田 尊光 須山(山名) 順子	竹内 啓 今泉(菅井) 洋子 古山 律子	学部長 小山 久美子 内海崎 貴子 田中 聡 山口 祐子 横山 悦子 <特別専任> 向野 光	藤原 昌樹 古金谷(香山) 綾子 高橋 裕子 高山 啓子 永嶋 久美子 <特別専任> 今井 久美子 大坂 佳保里	学部長 西川 誠 学部長 戸澤 純子 柳川 悦子		
小計	3	4	6	4	3	6	7	3	0	36
准教授	1 倉林 直子 2 3 4 5	大西 克典 松尾(辻) 明日香	佐藤 哲康 藤井(松岡) 靖子	伊藤 純 千野 裕子	江村 綾野 手塚 崇子 古屋 朝映子	奥田 順也 加藤 美由紀 松本 祐介	齋藤 美重子 佐久間 美穂 佐々木 唯 佐藤 真弓 築館 香澄	君島 俊克 小山 知子 松井 浩		
小計	1	2	2	2	3	3	5	3	0	21
講師	1 佐藤 翔馬 2 3	柴田 万里子 志村 瑠璃			白石 優子 中山 佳寿子 山下 佳香	山口 恭平	佐瀬(叶内) 茜	庄司(江口) 智子 奥名(山田) 祐子		
小計	1	2	0	0	3	1	1	2	0	10
助教	1 マクシム・シャハリン									
小計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
助手	1 2 3				真鍋 可苗		戸田 聡子 平中 菜摘 原島(依田)菜那子		久保 舞	
小計	0	0	0	0	1	0	3	0	1	5
合計	6	8	8	6	10	10	16	8	1	73

令和4年度 教員の学位・業績等

文学部 国際英語学科

氏名		職名	最終学歴	保有学位・分野	専門分野①	専門分野②	主たる担当科目①	主たる担当科目②	主たる研究業績等①	主たる研究業績等②	主たる研究業績等③	主たる研究業績等④
菱田 信彦	国際英語	教授	筑波大学大学院博士課程文芸・言語研究科単位取得退学	修士(文学)	イギリス小説	英米児童文学、文学批評理論	国際コミュニケーション(イギリス研修)	イギリス文化史(1)、(2)	「メアリー・ノートの『小人たち』シリーズにおける女性のリテラシー」、『Tinker Bell』(日本イギリス児童文学会)59、43-56、2014.	『快読「赤毛のアン」』、彩流社(フィギュール彩15)、2014.	「アクション・リサーチを活用した高等学校における英語プレゼンテーションの学習」、『川村学園女子大学研究紀要』28(1)、15-31、2017.	「従順なエルフと抵抗するゴブリン:『ハリー・ポッター』シリーズの魔法種族における価値の逆転」、『東京女子大学比較文化研究所紀要』78、59-76、2017.
W・キスチャック	国際英語	教授	法政大学大学院人文科学研究科日本文学専攻	修士(文学)	シーラ・ワトソン研究	能楽研究	卒業研究(パフォーマンス)	EIA. II (English in Action)	シーラ・ワトソン Rough Answerの試訳及びワトソンの年譜、川村英文学第8号、2003年3月	シーラ・ワトソン Brother Oedipus-a story-の試訳、川村英文学第9号、2004年3月	シーラ・ワトソン研究 The Black Farm-A Modern Allegory-の試訳、川村学園女子大学研究紀要第16巻第1号、2005年3月	シーラ・ワトソン研究-短編 Antigoneの試訳-、川村学園女子大学研究紀要第17巻第1号、2006年3月
小泉 朝子	国際英語	教授	早稲田大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学	文学修士	イギリス小説・イギリス文化	英語教育	国際文化特講I	英語科教育法III	「オスカー・ワイルドの『ヴェラ』---イギリスと日本における作品受容と社会的背景」(単)『比較文学』44号、2002年	『エフェクティブリーディング1』(共)成美堂、2007年	「ホーソンとギヤスケル---墮ちた女の表象をめぐって」『フォーラム』14号、23-39、2009年	『デリダと歴史の終わり』(スチュアート・シム著の翻訳(単))、岩波書店、2006年
倉林 直子	国際英語	准教授	津田塾大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学	修士(文学)、MA (History, University of Virginia)	アメリカ史	日米関係史	アメリカ文化史	国際文化特講II	1950年代の日本舞台芸術とアメリカ---1959年アメリカ雅楽公演を中心に---『アメリカ太平洋研究』20号、2020年3月	「日米文化交流をめぐる協調と摩擦 1960年歌舞伎のアメリカ公演を一例として」『アメリカ史研究』第40号、2017年8月	「ポスト講和期の日米関係と文化---ジョシュア・ローガンの活動を中心に---」『津田塾大学紀要』第49号、2017年3月	「リチャード・ニクソンのイメージ戦略とその効果」『津田塾大学紀要』第46号、2014年3月
佐藤 翔馬	国際英語	講師	名古屋大学大学院国際開発研究科博士後期課程修了	博士(学術)	言語学	英語教育	言語コミュニケーション特講II	児童英語教育法・児童英語教材研究	「理由を提示するit is that節構文」『英語語法文法研究』第22号、2015年12月	「文主語構文とit外置文」『英語語法文法研究』第26号、2019年12月	「It says PP構文におけるitの働きと語順について」『英語語法文法研究』第27号、2020年12月	「2種類のit is (just) that節構文」JELS 32、2015年1月
マクシム・シャハリン	国際英語	助教	オックスフォード大学、マートン・カレッジ、東洋研究所	文学博士(D.Phil.)	東洋研究	国際政治学	日本の政治と国際社会(1)(2)	海外から見た日本(1)(2)	第2回ヨーロッパ日本研究ラウンドテーブル「北東アジア安全保障再考」(イギリス、シェフィールド大学)に参加(平成20年3月)	イギリス日本研究協会年次大会(イギリス、マンチェスター)にて口頭発表(平成20年4月)	日本政治学コロキウム年次大会(イギリス、リーズ大学)にて口頭発表(平成20年9月)	ワークショップ「なぜ(いまだに)日本は重要なのか」(イギリス外務・コモンウェルス省およびシェフィールド大学)において、日本とロシアの関係について報告(平成21年4月)

令和4年度 教員の学位・業績等

文学部 史学科

氏名		職名	最終学歴	保有学位・分野	専門分野①	専門分野②	主たる担当科目①	主たる担当科目②	主たる研究業績等①	主たる研究業績等②	主たる研究業績等③	主たる研究業績等④
高津 純也	史学	教授	東京大学大学院人文社会系研究科アジア文化研究専攻博士後期課程修了	博士(文学)	中国古代史	中国思想史, 中国古文字学	アジア史研究入門(1)	東アジア史	『水経注疏訳注(渭水篇)』, 共著, 財団法人東洋文庫, 上巻2008年, 下巻2011年	『尚書』諸篇の成立に関する一考察—戦国諸国における同時並行的な成書について—, 単著, 『史学雑誌』第116編11号, 2007年	『地下からの贈り物—新出土資料が語るいにしへの中国—』, 共著, 東方書店, 2014年	『荀子』『禮記』引書再考—楚簡本「緇衣」の出現を踏まえ—, 単著, 『中國出土資料研究』第16号, 2012年
塩谷 修	史学	教授	國學院大學大学院文学研究科(日本史学専攻)博士課程後期(単位取得満期退学)	博士(歴史学)	日本考古学(古墳時代)	博物館学	日本史演習(1)	博物館概論	『前方後円墳の築造と儀礼』(単著) 同成社 2014年	『霞ヶ浦の古墳時代—内海・交流・王権—』(単著) 高志書院 2018年	(論文)「古代筑波山祭祀への視角」『東国の地域考古学』六一—書房 2011年	(論文)「古霞ヶ浦の世界—古墳時代における水上交通の展開と地域社会の形成—」『地方史研究』第71巻第5号, 2021年
辻 浩和	史学	教授	京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程修了	博士・人間・環境学	日本中世史	芸能史	日本史研究入門(2)	日本史概説(1)	『中世の〈遊女〉 生業と身分』(単著) 京都大学学術出版会, 2017	『女性労働の日本史—古代から現代まで』(共編著) 勉誠出版, 2019	『身分と集団から中世社会を考える』(『増補改訂新版 日本中世史入門』) 勉誠出版, 2021)	『室町期芸能史研究の現在』(『歴史評論』767, 2014)
原田 晶子	史学	教授	エアランゲン大学博士課程修了	Dr. Phil.	西洋中世史	地域文化研究(ドイツ)	西洋史演習(1)	西洋史研究入門(1)	(単著) Die Symbiose von Kirche und Stadt im Spätmittelalter. Das bürgerliche Gemeinschaftsbewusstsein und Stiftungen an die Pfarrkirchen in der Reichsstadt Nürnberg (Studien zur Geschichtsforschung des Mittelalters Bd. 31), Hamburg: Verlag Dr. Kovač, 2014.	『断絶と新生: 中近世ヨーロッパとイスラームの信仰・思想・統治』共著, 慶応義塾大学出版会, 2016年	『西洋中世都市の市壁と都市のアイデンティティ』『歴史学研究』972号(2018年)	『中世末期ドイツ都市における聖母マリア賛歌「サルヴェ・レジーナ」寄進の社会的意義—帝国都市ニュルンベルクを例に—』『比較都市史研究』第31巻第2号(2012年)。□
大西 克典	史学	准教授	ピサ高等師範学校博士課程修了	博士(歴史学)	近世イタリア史		西洋史演習(2)	西洋史概説(1)	『近世イタリア都市工業と啓蒙改革—18世紀トスカーナにおける絹織物工業保護』『史学雑誌』126編8号(2017年8月)	『18世紀トスカーナ大公国における統一土地台帳編纂計画とその挫折: ピエトロ・レオポルド期の改革路線対立』『西洋史学』258号(2015年)	(動向論文)「18世紀イタリアにおける土地台帳編纂研究の射程—ヨーロッパ政治の中の啓蒙改革」『地中海学研究』40号(2017年)	『18世紀トスカーナ大公国における軍事費—啓蒙改革とヨーロッパ政治』『立正史学』123号(2018年)
辻 明日香	史学	准教授	東京大学大学院人文社会系研究科アジア文化研究専攻修了	博士(文学)	西アジア史		アジア史概論(2)	アジア史研究入門(2)	(共著) “Wearing the Blue Turban Again: Christian Reconversions in Mamluk Egypt,” in Katsumi Fukasawa et al. (eds.), Conflict and Reconciliation among Confessions and Religions, London: Routledge, 2017.	(共著) “Preliminary Report on Four saints from the Mamluk period: Hadid, Yuhanna al-Rabban, Barsauma al-Uryan, and ‘Alam,” in Paola Buzi et al. (eds.), Coptic Society, Literature and Religion from Late Antiquity to Modern Times: Proceedings of the Tenth International Congress of Coptic Studies, Rome, September 17th–22nd, Louvain: Peeters, 2016.	『コプト聖人伝にみられる十四世紀エジプト社会』山川歴史モノグラフ, 山川出版社, 2016年。	『11世紀後半—14世紀下エジプトにおけるキリスト教徒集落の消長』『日本中東学会年報』第31–2号(2016年3月)。
柴田 万里子	史学	講師	東京大学大学院教育学研究科博士課程(単位取得満期退学)	修士(教育学)	教育学	授業研究	教育方法論	教育課程論	『専門高校における協同学習の導入をめぐる困難と可能性—校内研修講師としての実践記録第一報—』『川村学園女子大学教職センター年報』第5号, 2021年	『専門高校における協同学習の導入を通じた教師たちの協働—校内研修講師としての実践記録第二報—』『川村学園女子大学教職センター年報』第5号, 2021年	『教師の声を聴く—教職のジェンダー研究からフェミニズム教育学へ—』(共著) 学文社, 2016年	『高卒5年—どう生き、これからどう生きるか—』(共著) 大月書店, 2013年
志村 瑠璃	史学	講師	東京大学大学院教育学研究科博士課程(単位取得満期退学)	修士(教育学)	図書館情報学		図書館概論	図書館情報資源概論	『書店が読者に媒介しうる本: 名著文庫を対象として』『日本図書館情報学会誌』vol. 67, no. 1, 2021, p. 1–15.	『読書法の書籍における読書観の類型とその経年変化』『日本図書館情報学会誌』vol. 65, no. 4, 2019, p. 162–180.	Ruri Shimura, Shohei Yamada, Bin Umino, Shin'ichi Toda, Kyo Kageura “The Structural Characteristics of the Japanese Paperback Book Series Shinsho,” Libres, vol. 27, no. 1, 2017, p. 39–52.	志村瑠璃, 朱心茹「『日本図書館情報学会誌』における著者の出現分布」『生涯学習基盤経営研究』vol. 45, 2021, p. 27–42.

令和4年度 教員の学位・業績等

文学部 心理学科

氏名		職名	最終学歴	保有学位・分野	専門分野①	専門分野②	主たる担当科目①	主たる担当科目②	主たる研究業績等①	主たる研究業績等②	主たる研究業績等③	主たる研究業績等④
鶴沼 秀行	心理	教授	早稲田大学大学院文学研究科心理学専攻博士後期課程(単位取得退学)	博士(教育学)	知覚心理学	認知心理学	心理学統計法	心理学実験(基礎)	【著書】対象の認識における情報の時間空間的統合と知覚的表象の形成, 単著, 早稲田大学出版会, 2013	【著書】改訂版はじめての心理統計法, 共著, 東京図書, 2016	【学術論文】Spatiotemporal integration and contour interpolation revealed by a dot localization task with serial presentation paradigm, 共著, Wiley Blackwell 日本心理学会, Japanese Psychological Research, 2010	【学術論文】Facial features in perceived intensity of schematic facial expressions, 共著, Ammons Scientific, Perceptual and Motor Skills, 2010
西川 将巳	心理	教授	東京大学 医学部 医学科	学士(医学)、学士(文学)	心身医学	脳神経科学、臨床心理学	心身医学(保健医療分野に関する理論と支援の展開)(大学院)	健康・医療心理学	$\alpha$ -[11C] methyl-L tryptophan-PET as a surrogate for interictal cerebral serotonin synthesis in migraine without aura. (共著), Cephalalgia. 34(3):165-73, Mar, 2014	心身関連の生物学的基礎研究領域の進歩、パニック障害の脳内機構。(単著), 「専門医のための精神科臨床リユミエール」第27巻, 中山書店, Aug, 2011	Alterations in brain serotonin synthesis in male alcoholics measured using positron emission tomography. (共著), Alcohol Clin Exp Res. 33(2):233-9, Feb, 2009	認知行動療法の脳科学。(単著), 心療内科 11: 13-18, 科学評論社, Jan, 2007
田中 裕	心理	教授	日本大学大学院文学研究科心理学専攻博士後期課程	博士(心理学)	生理心理学		生理心理学(文学部心理学科専門科目)	生理心理学特講(大学院心理学専攻専門科目)	Yu TANAKA, Takenobu OHISHI, Etsuko HAYASHI, Rumiko KATO, Hideoki TADA (2013)【共著】Eyeblink as a formative assessment technique for people with profound multiple disabilities Journal of Policy and Practice in Intellectual Disabilities Vol. 10, pp. 174.	田中裕(2009b)学習と条件づけと動機づけ【共著】『社会福祉学習双書』編集委員会(編)社会福祉学習双書2009 第11巻 心理学 第1章 第5節 全国社会福祉協議会出版部 pp.25-29.	田中裕(1999)【単著】覚醒水準と瞬目活動心理学研究 Vol.70 pp.1-8.	田中裕(2002a)【単著】視覚作業休息下における随意性瞬目の効果 川村学園女子大学研究紀要,第13巻 第1号 pp.159-168.
今井 正司	心理	教授	早稲田大学大学院人間科学研究科	博士(人間科学)	臨床心理学	応用脳科学	臨床心理学特論	臨床心理学実習	【著書:単著】子どものためのマインドフルネス, 合同出版, 印刷中	【単著】メタ認知療法からみたマインドフルネス, 心理学評論, 2021, 64(4), 476-499.	【共著】Relationships between cortically mediated attentional dysfunction and social anxiety, self-focused attention, and external attention bias. Perceptual and Motor Skills (2019), 126(6), 1101-1116.	【共著】Use of multi-channel near infrared spectroscopy to Study relationships between brain regions and neurocognitive tasks of selective/divided attention and 2-back working memory. Perceptual and Motor Skills (2017), 124, 703-720.
桂 瑠以	心理	教授	お茶の水女子大学大学院人間文化研究科	博士(人文科学)	社会心理学	教育心理学	社会心理学概論	コミュニケーション論	【著書】挫折と向き合う心理学, 共著, 福村出版, 2020	【著書】新しい教育相談論, 共著, 武蔵野美術大学出版, 2016	【学術論文】インターネットの利用による心理的引きこもりの低減効果の検討—青年期から老年期の世代間比較—, 共著, 日本教育工学会論文誌, 2020	【学術論文】The effect of mobile phone use on communication between parents and children: A panel study examining causality, 共著, Ochanomizu University Global COE Program English Monograph, Proceedings, 2012
養下成子	心理	教授	筑波大学大学院博士課程医学研究科卒業	博士(医学)	臨床心理学	犯罪心理学	非行・犯罪心理学(学部)	臨床心理面接法特講(大学院)	Koelkebecka, K., Vosselera, A., Kohla, W., Fasshauer, T., Lencera, R., Satoh, S. E. Kretz, M., Minoshita, S. Masked ambiguity – Emotion identification in schizophrenia and major depressive disorder Psychiatry Research 270, 852-860, 2018.	養下成子, 小島秀悟, 佐藤親次, 表情認知の精神病理学的研究, 脳の科学, Vol22. 2, pp.177-181, 2000.	養下成子, 森田展彰, 佐藤親次, 浅井義弘, 統合失調症患者における表情認知と社会適応度の関係—能面テスト(Noh Mask Test)を用いて— 社会精神医学雑誌 12(3):253-261, 2004. (Minoshita S, Morita N, Satoh S, Asai Y. Relationships between facial expression recognition and social adjustment in schizophrenia. —The Noh mask Test as a social skill assessment— Japanese Bulletin of Social Psychiatry 12(3):253-261, 2004.)	Minoshita S, Morita N, Yamashita T, Yoshikawa M, Kikuchi T, Satoh S. Recognition of affect in facial expression using the Noh Mask Test: Comparison of individuals with schizophrenia and normal controls. Psychiatry and Clinical Neurosciences 59, 1, 2005, pp.4-10.
佐藤 哲康	心理	准教授	立正大学大学院文学研究科哲学専攻博士後期課程(単位取得退学)	修士(文学)	臨床心理学	カウンセリング心理学	青年心理学(学部)	心理療法各論 I (認知行動療法)(大学院)	【著書】不登校の予防と対応, 分担, 図書文化社, 2020	【著書】教育相談の理論と方法, 分担, 北樹出版, 2019	【論文】待つ相談室から働きかける機能を包括した学生相談室への展開, 学生相談研究 29(2), 153-165, 2008	【論文】自ら助けを求めず潜在している学生に対する学内協働による取り組み—欠席過多学生対応プロジェクトを通して, 学生相談研究 28(3), 214-224, 2008
松岡 靖子	心理	准教授	名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士後期課程(単位取得退学)	博士(心理学)	発達心理学	学校臨床心理学	発達心理学(学部)	臨床心理基礎実習(大学院)	【著書】(分担)学校心理臨床実践, 窪田由紀・平石賢二(編), ナカニシヤ出版, 2018.	【論文】(共著)私学常勤型スクールカウンセラーの活動の実際と課題, 川村学園女子大学研究紀要, 第33巻, 33-51, 2022	【論文】(単著)スクールカウンセラーの教員との連携構築プロセス—修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチによる検討—, カウンセリング研究, 第47巻2号, 61-75, 2014	【論文】(単著)自傷行為を呈した生徒への常勤型スクールカウンセラーの対応—即時性と連携体制—, カウンセリング研究, 第45巻1号, 51-61, 2012.

令和4年度 教員の学位・業績等

文学部 日本文化学科

氏名		職名	最終学歴	保有学位・分野	専門分野①	専門分野②	主たる担当科目①	主たる担当科目②	主たる研究業績等①	主たる研究業績等②	主たる研究業績等③	主たる研究業績等④
長崎 靖子	日本文化	教授	日本女子大学大学院文学研究科日本文学専攻博士後期課程修了	博士(文学)	日本語学	日本語史	日本語学(1)	日本語の歴史(1)	【著書】『断定表現の通時的研究—江戸語から東京語へ—』、単著、武蔵野書院、2012.10	【著書】『大東急記念文庫所蔵 式亭三馬自筆『雑記』影印と翻刻』、編著、武蔵野書院、2016.10	【論文】『『浮世風呂』に見る仙台浄瑠璃に関して』、単著、『國文目白』第61号、1—10、2022.2	【論文】『式亭三馬の仮名文字遣い—三馬蔵書印書の調査から—』、単著、『川村学園女子大学紀要』第33号、1—18(左225—242)、2022.3
岩崎 利彦	日本文化	教授	順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻博士前期課程 修了	修士(スポーツ健康科学)	スポーツ社会学		スポーツ(2)	キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅢ(2)				
真田 尊光	日本文化	教授	高野山大学大学院文学研究科密教学専攻博士後期課程修了	高野山大学:博士(密教学)・修士(密教学)、早稲田大学:修士(文学)	仏教美術史	日本美術史	日本の絵画	日本の仏像	【著書】『鑑真と唐招提寺の研究』(単著)、吉川弘文館、2021.3	【著書】『正倉院宝物の輝き』(共著)、里文出版、2020、10	【著書】『みる・よむ・あるく 東京の歴史8 地帯編5 足立区・葛飾区・荒川区・江戸川区』(共著)、吉川弘文館、2020、3	【著書】『西大寺—美術史研究のあゆみ—』(共著)、里文出版、2017、12
山名 順子	日本文化	教授	お茶の水女子大学大学院博士後期課程人間文化研究科修了	博士(人文科学)	日本文学(近代/近世)	国語科教育	日本文化専門演習Ⅲ(日本近代文学)	国語科教育法Ⅲ、Ⅳ	『国語科における〈文部省唱歌〉および〈伝統的な年中行事〉の利用の研究—中学校における実践研究を通じて—』、『子どもを取り巻く家庭・教育・環境をめぐる研究』、川村学園子ども学研究所、2016.01	『山東京伝の読本・合巻における挿絵の変遷—『梅花氷裂』から『磯馴松金糸腰蓑』へ—(剛悪の趣意)を軸として—』、『読本研究新集』、読本研究の会、第8集、2016.07	『〈文学作品〉としての『少年の日の思い出』利用の研究—中学校における実践研究を通じて—』、『人文科教育研究』、人文科教育学会、第43号、2016.09	『中島敦『山月記』を読む—時代をみつめる作者の眼—』(二)、『川村学園女子大学研究紀要』第28巻、川村学園女子大学、2017.03
伊藤 純	日本文化	准教授	早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程 修了	博士(人間科学)	民俗学	文化人類学	日本の祭りと儀礼	日本の伝統芸能	『法印神楽團の獅子舞』『山岳修験』68、日本山岳修験学会、2021年	『民俗芸能』『新編立川市史 資料編 柴崎の民俗』立川市、2020年	『芸能を媒介とするネットワークの形成と自律的伝承の課題—三宅島神着天王祭を事例として—』『儀礼文化学会紀要』6、儀礼文化学会、2018年	『風流獅子舞文書にみる芸能伝承のダイナミズム—関白流・文挾流獅子舞を事例として—』(伊藤純・藤井絃・山越英嗣編『文化の遠近法—エコ・イマジネールⅡ』、言叢社)2017年
千野 裕子	日本文化	准教授	学習院大学大学院人文科学研究科日本語日本文学専攻 博士後期課程 単位修得退学	博士(日本語日本文学)	中古文学	物語文学	古典文学概論	日本文学史(古典)	『女房たちの王朝物語論』(単著)青土社、2017年	『三条西家本狭衣物語注釈』(共編著)勉誠出版、2019年	『古典の翻案の可能性—実践者の立場から—』(『中古文学』第108号、2021年11月)	『王朝の女房たちと万葉集』(『現代思想』第47巻11号、青土社)2019年9月



令和4年度 教員の学位・業績等

教育学部 児童教育学科

氏名		職名	最終学歴	保有学位・分野	専門分野①	専門分野②	主たる担当科目①	主たる担当科目②	主たる研究業績等①	主たる研究業績等②	主たる研究業績等③	主たる研究業績等④
小山 久美子	児童教育	教授	日本女子大学大学院文学研究科英文学専攻博士課程後期単位取得満期退学	文学修士	言語学	英語教育	英文法Ⅱ	小学校英語指導法	「英文法における誤答」『川村学園女子大学教職センター年報』第6号, 2022年	「英語における分裂文再考—小説における使用と機能—」『川村学園女子大学研究紀要』第29巻第1号, 2018年	「There構文の諸相と言語材料としての中学校英語教育における展開」『川村学園女子大学研究紀要』第28巻第1号, 2017年	『英語学用語辞典』(共)三省堂, 1998年
内海崎 貴子	児童教育	教授	上智大学大学院文学研究科教育学専攻博士後期課程単位取得満期退学	文学修士	教育学(人権教育/ジェンダー平等教育)	ジェンダー論	教育原理	女性学	【著書】『改訂版 新・教職入門』共著, 学文社, 2020年	【著書】『新・教職のための教育原理』編著, 八千代出版, 2021年	【著書】『教職のための道德教育』編著, 八千代出版, 2017年	【著書】『スクール・セクシュアル・ハラスメント—学校の中の性暴力—』編著, 八千代出版, 2019年
田中 聡	児童教育	教授	中央大学理工学部	理学士	算数・数学教育	学校経営	算数	算数科教育法	小学校算数科指導の工夫(我孫子市立我孫子第四小学校における実践)『川村学園女子大学教職センター年報』創刊号	「我孫子市新任校長研修会」に関する実践報告(学校グランドデザインと信頼される学校づくり)『川村学園女子大学教職センター年報』第2号	「みんなでつくる地域の学校」千葉県総合教育センター『千葉教育』4・5月号NO625	「ふるさと我孫子の先人たち」我孫子市教育委員会教育総務部指導課
向野 光	児童教育	教授	千葉大学教育学部	教育学士	特別支援教育	キャリア教育	特別支援教育論	進路指導	高等特別支援学校における生徒指導に就いての一考察 川村学園女子大学子ども学研究年報』第2巻第1号	特別支援学校における職業教育についての一考察(千葉県における作業学習の編成を通して)『川村学園女子大学研究紀要』第29巻第2号	教職課程履修者の教育実習に対する不安に関する一考察 『川村学園女子大学教職センター年報』第1号	これからの障害者の雇用について『運輸と経済』第78巻 第9号
山口 祐子	児童教育	教授	放送大学大学院文化科学研究科	修士	小学校教育全般	教育実践研究	学校経営論	教育実習演習	小学校の研究・研修において 算数科 国語科 総合的な学習の時間 生活科 理科	文部科学省 独立行政法人教職員機構 平成29年度 我孫子市立我孫子第一小学校=新たな学びに関する教員の資質能力向上のためのプロジェクト=実践フィールド校 全国公開	『川村学園女子大学教職センター年報』2号	『川村学園女子大学教職センター年報』5号
横山 悦子	児童教育	教授	福島県立会津短期大学デザイン科	准学士	国語教育	図工・美術	国語	国語科教育法	【著書】『はしだてえつこの児童詩の世界』全13冊、銀の鈴社、1992-2001 【著書】『命のカルタ』、銀の鈴社、2006 『めるへん文庫』全19冊、共著、我孫子市教育委員会、2004-2021	【著書】鈴の音童話『魔女シリーズ』全18巻、銀の鈴社、1998-2017 【著書】エッセイ『魔女が校長先生になった』銀の鈴社、2020 『わくわく童話 ひとりじゃないって』共著、文研出版、1996	【著書】すずのねえほん『魔女えほん』全15巻、銀の鈴社、2002-2008 【著書】心の絵本『ぼくはココロ』全5巻、銀の鈴社、2004 【著書】もの知り絵本『ピペッタの幸せ探し12支めぐり』銀の鈴社、1995 【著書】『ポケット絵本シリーズ』全7巻、銀の鈴社、2005-2010	『主体的・対話的深い学びは楽しむことから』小学館、総合教育技術5月号、2019 『準備と引き継ぎのポイント・校長編』小学館、総合教育技術3月号、2021 『主体的な学びを育む総合の力』小学館、教育技術4/5月号、2021
奥田 順也	児童教育	准教授	国立音楽大学大学院音楽研究科修士課程音楽専攻(イタリア歌曲)	修士(音楽)	声楽	音楽教育学	音楽科教育法	音楽	「小学校低学年における『声量』を重視した地声による歌唱に関する音声分析的アプローチ—歌唱の際のピッチに着目して—」(2016)『教育実践学研究』第19号(教育実践学会), pp.77-95.	「小学校低学年から小学校中学年を見据えた段階的な歌唱指導に関する検証—子供たちの歌う意欲と歌唱技能を観点として—」(2016)『玉川大学 教師教育リサーチセンター年報』第6号, pp.33-45.	「小学校低学年における鍵盤ハーモニカの運指を指導するための学習プロセスの構築とその有用性に関する研究—授業実践から得られたデータを用いて—」(2018)『教育実践学研究』第21号(教育実践学会), pp.51-75.	「小学校低学年の歌唱指導における『どなり声』の解消法に関する考察—実践事例に見られる傾向について—」(2015)『玉川大学芸術学部紀要』芸術研究6, pp.11-20.
加藤 美由紀	児童教育	准教授	日本女子大学大学院人間社会研究科教育学専攻博士課程後期単位取得退学	博士(教育学)	理科教育学	環境教育	理科	理科教育法	加藤美由紀(2015)「高等学校生物教科書に見られる自然保護から生物多様性保全への変遷」『生物教育』56(3), pp.94-110	加藤美由紀(2015)「中学校学習指導要領に見る保全教育の変遷と課題」『環境教育』25(1)pp.119-131	加藤美由紀(2017)「『多様性と共通性』の視点から捉える『生命』領域の学習への期待」『理科の教育』Vol.66, pp.19-22	加藤美由紀(2018)「校内の植物図鑑の作製とその活用について—小学校における生物多様性保全の学習と指導に関連して—」『人間研究』第54号, pp.43-52
松本 祐介	児童教育	准教授	筑波大学大学院博士後期課程体育科学専攻単位取得退学	修士(教育学)	体育科教育学	スポーツ教育学	体育科教育法	健康スポーツ論	小学校低学年の体育授業における捕球技能の習得—捕球動作の選択の学習とその効果—。(2013)スポーツ教育学研究,33(2):1-13.	小学校低学年における捕球技能向上のための学習プログラムの開発—動作の選択と体幹の移動に着目して—。(2010)日本スポーツ教育学会第30回記念大会プロシーディングス,pp.132-138.	小学校低学年における捕球動作の学習必要性—学習の有無による捕球動作の相違から—。(2015)川村学園女子大学研究紀要,26(2):63-80	小学校低学年における捕球動作の学習必要性—学習の有無による捕球動作の相違から—。(2015)川村学園女子大学研究紀要,26(2):63-80
山口 恭平	児童教育	講師	東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得満期退学	修士(教育学)	教育学	教育思想	教育原理	道德の理論と指導法	「J」パトラーにおける『政治教育』東京大学大学院教育学研究科基礎教育学研究室『研究室紀要』第42号、2016年、pp.205-214.	「カリキュラムとunlearn」川村学園女子大学教職センター『川村学園女子大学教職センター年報』第5号、2021年、pp.63-75.	『『道德教育論』の指導法にかんする覚え書き—『今日の道德教育における問題の検討』を中心に—』桜美林大学『教職研究』第2号、2017年、pp.61-69.	「幼児教育におけるカリキュラムと『主体性』」川村学園女子大学教職センター『川村学園女子大学教職センター年報』第5号、2021、pp.77-84.

令和4年度 教員の学位・業績等

生活創造学部 生活文化学科

氏名	職名	最終学歴	保有学位・分野	専門分野①	専門分野②	主たる担当科目①	主たる担当科目②	主たる研究業績等①	主たる研究業績等②	主たる研究業績等③	主たる研究業績等④
藤原 昌樹	生活文化 教授	順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科博士後期課程 満期退学	修士(スポーツ健康科学)	スポーツ社会学	武道論	オリンピック論	ボランティア論	「スポーツボランティア養成事業の指針について」、共著、日本スポーツ産業学会第25回学会大会、2016.	『小学校教員養成における「コミュニケーション能力」を高める教科教育法に関する研究』、共著、株式会社ワードオン、2011.	「生涯スポーツと支援者」、日本生涯教育学会編『日本生涯教育学会年報』第25号、単著、日本生涯教育学会、2004.	『保健指導のすすめ方』(養護教諭のための実践教育保健学講座第11巻)、単著、出版科学総合研究所、1985.
香山 綾子	生活文化 教授	東京大学大学院医学系研究科分子細胞生物学専攻	博士(医学)	生命科学	分子生物学	生化学	解剖生理学	VRAT: A Proposal of Training Method for Auditory Information Processing Using Virtual Space. J Med Virtual Real. 17(1) p23-32 (2020)	Loss of GPRC5B impairs synapse formation of Purkinje cells with cerebellar nuclear neurons and disrupts cerebellar synaptic plasticity and motor learning. Neurosci Res. 136 p33-47 (2018)	Mice lacking a functional NMDA receptor exhibit social subordination in a group-housed environment. FEBS J. 285(1) p188-196 (2018)	Loss of BOSS causes Shortened lifespan with Mitochondrial Dysfunction in Drosophila. PLoS One. 12(1): e0169073 (2017)
高橋 裕子	生活文化 教授	京都造形芸術大学大学院芸術研究科芸術環境専攻修士課程	修士(芸術)	生活造形	被服構成学	ライフ商品開発	江戸のエコ学	「川村女学院における裁縫教育の変遷ーコロナ禍で見えた現代への有用性ー」(共著)、川村学園女子大学 女性学研究所 教育研究奨励報告書、pp71-91,2021.	「中学・高校の家庭科教育における被服学の現況と課題」単著、川村学園女子大学教職センター年報、第1号、243-255頁	日本伝統手工芸 第16回 巧技ソサエティー美術展 《奏炎》 東京都議会議長賞受賞	「Possibility」(単独) GIAP Invitation 2021 KSBDA Sejong Special Exhibition Certificate、ソウル世宗文化会館美術館
高山 啓子	生活文化 教授	お茶の水女子大学大学院人間文化研究科比較文化学専攻	修士(人文科学)	社会学	コミュニケーション論	社会学	観光社会学	『文化の社会学ー実践と再生産のメカニズムー』(宮島喬編)(共著)有信堂1995年5月	『語る身体・見る身体』(西阪仰・山崎敬一編)(共著)ハーベスト社1997年12月	マイケル・リンチ「エスノメソドロジーと科学実践の社会学」(水川喜文、中村和生、浦野茂、前田泰樹、高山啓子、岡田光弘、芦川晋 訳)(共訳)頤草書房2012年10月	「協同作業場面の身体配置ー通信指令室における社会空間の構成ー」(単著)『年報社会学論集』10号157-168頁、1997年6月
永嶋 久美子	生活文化 教授	昭和女子大学大学院生活機構研究科博士後期課程生活機構学専攻修了	博士(学術)	調理科学	食教育	調理学	給食管理実習	【著書】『一食献立による調理実習25 第2版』共著、医歯薬出版、2016年	【論文】「給食を通じた食文化の継承に関する研究、献立および食の作法の伝承からの検討」(共著)、『食生活科学・文化、環境に関する研究助成研究紀要』、第33巻(2018年度)、pp.109-119、公益財団法人アサヒグループ学術振興財団、2020年	【論文】「凍みもちの内部組織構造と食味特性を形成する凍結・乾燥条件の検討」(共著)、『日本家政学会誌』、第66巻、第4号、pp.1-11、日本家政学会、2015年	【論文】「大学生の偏食行動様式別食習慣および健康習慣の実態」共著、日本公衆衛生雑誌、第49巻、第5号、pp.447-455、2002年
今井 久美子	生活文化 教授	女子栄養大学栄養学部栄養学科実践栄養学専攻	博士(医学)	栄養教育・指導	食文化	栄養指導論	臨床栄養学	【著書】(共著)今井久美子:研修医・医学生のための症例で学ぶ栄養学/折茂英生、勝川史憲他編、pp59-63、建帛社、2017年	【著書】(共著)今井久美子:三訂栄養指導論(Nブック)/相川りゑ子編、pp74-77、pp147-150、建帛社、2020年	【著書】(共著)今井久美子:知る! わかる! 身につく!! 公衆栄養学 第二版/逸見幾代編、pp83-92、pp95-101、pp155-165、同文書院、2020年	【論文】「アクティブ・ラーニングによる食育普及活動の実施ー「親子でキッチン・ワークおにぎり」を介した家庭料理伝承の試みー、共著、査読有り、川村学園女子大学 子ども学研究年報、3巻1号、p1-11、2018年
大坂 佳保里	生活文化 教授	筑波大学大学院 人間総合科学研究科 修士課程 スポーツ健康システム・マネジメント専攻修了	修士(保健学)	食品加工学	食生活・文化	食品加工学	食生活論	【著書】食べ物と健康(食品学各論)(共著)「八千代出版」	【著書】地域食材大百科(共著)「農山漁村文化協会」	【論文】家庭環境が小・中学生の食習慣に及ぼす影響(共著)、子ども学研究年報「川村学園女子大学」第1巻第1号pp.15-20(2016)	【論文】家庭環境が子どもの朝食時の欠食に及ぼす影響(単著)子どもを取り巻く家庭・教育・環境をめぐる研究pp.13-22(2016)
齋藤 美重子	生活文化 准教授	日本女子大学大学院家政学研究科生活経済専攻修了	修士(家政学)	家庭科教育学	生活経営学	社会生活入門	家庭科教育法	【論文】単著「消費者市民社会に向けたアサーション・ディベート授業」(査読有)『消費者教育』第39冊、日本消費者教育学会、2019	【著書】編著『自然と社会と心の人間学』、一藝社、2020	【論文】Mieko SAITO, Midori OTAKE,他5名, Studies of Home Economics around the World and MDGs. (査読有), The Journal of Asian Regional Association for Home Economics(ARAHE), Volume 25・Number 4・2018	【論文】単著「農業体験学習の目標と学習連携ー「食」「農」「環境」をつなぎ、生活に活かす学びに向けてー」(査読有)『日本教科教育学会誌』、第40巻2号、日本教科教育学会、2017
佐久間 美穂	生活文化 准教授	日本女子大学大学院人間社会研究科社会福祉学専攻	修士(社会福祉学)	社会福祉	福祉コミュニティ	社会福祉	保育実習Ⅱ(施設)	『中心と周縁-タイ・天草・シカゴ』、共著、春風社、2013	『みらい×子どもの福祉ボックス 社会福祉』、分担、みらい、2020	『新 世界の社会福祉 第12巻 国際社会福祉』、分担、旬報社、2020	「創造的社会的の構築とコミュニティー郊外型コミュニティの現状と課題に関する考察を通じて」(単著)『東北都市学会研究年報』Vol.15-16、東北都市学会、2016



佐々木 唯	生活文化	准教授	奈良女子大学大学院 人間文化研究科生活 環境学専攻	博士(学術)	住生活学	建築計画	住居学	生活デザイン論	Development of Welfare and Living Environment through Collaboration of Family and Community : The practice of supporting the young generation by securing a place to live, BULLETIN OF LIVING SCIENCE, LIVING SCIENCE INSTITUTE BUNKYO UNIVERSITY, No. 44, 2022	A Study on New Lifestyles and Home Healthcare Hygiene: In light of Behavioral Changes in Healthcare, Annual Report of The Faculty of Education Bunkyo University, No.55, 2022	A Study on the Home Environment and Home Hygiene: Home and Community Education in Light of the New Normal of COVID- 19, Annual Report of The Faculty of Education Bunkyo University, No.54, 2021	『住まいの百科事典』(共著)丸善出版, 2021
佐藤 真弓	生活文化	准教授	お茶の水女子大学大 学院 家政学研究科 家 庭経営学専攻	修士(家政 学)	家政学原論	家庭経営学	家族関係学	家庭経営学	『生活と家族—家政学からの学び』(単著)— 藝社、2016	『自然と社会と心の人間学』(共著)—藝社、 2020	『家族と生活』(共著)創成社、2013	THE USAGE OF CELL PHONES AND THE FEELING TO THEM IN MODERN JAPANESE COLLEGE STUDENTS (共著)2010, JOURNAL OF HUMAN ERGOLOGY Vol.39, No.1, pp.23-33
築館 香澄	生活文化	准教授	大妻女子大学大学院 人間文化研究科人間 生活科学専攻 修了	博士(生活科 学)	食生活学	食品科学	基礎栄養学	食品学実験	学術論文「γ -アミノ酪酸(GABA)の摂取が繰 り返しストレス下のラットの肝臓および脳の GABA代謝に及ぼす影響」日本家政学会誌, 63(6), 293-299(2012)	著書「茶の事典」(共著)朝倉書店, 2017	著書「スタンダード人間栄養学 応用栄養学 第3版」(共著)朝倉書店, 2021	著書「スタンダード人間栄養学 基礎栄養学 第3版」(共著)朝倉書店, 2022
叶内 茜	生活文化	講師	東京学芸大学大学院 連合学校教育学研究 科学校教育学専攻 修 了	博士(教育 学)	家庭科教育学	保育学	保育学	家庭の健康学	【著書】『家庭科教育(教科教育学シリーズ第 7巻)』(共著),—藝社, 2015.	【著書】『技術・家庭学習指導書[家庭分野]内 容A家族・家庭生活』(共著),開隆堂, 2021.	【論文】「体験内容の違いからみたふれ合い体 験での学び—ナラティブの場面分析から—」 (単著), 児童学研究, 43, 44-53, 2019.	【論文】「若手教員が抱える世代間交流の課 題—乳幼児と中学生のふれ合い体験の実践 に着目して—」(単著), 日本世代間交流学会 誌, 10, 39-47, 2021.
戸田 聡子	生活文化	助手	川村短期大学卒	準学士								
依田 菜那子	生活文化	助手	川村学園女子大学 生 活創造学部 生活文化 学科	学士(社会 学)								
平中 菜摘	生活文化	助手	東京農業大学 応用生 物科学部 栄養科学科 管理栄養士専攻	学士(応用生 物化学)								
藪井 里代子	生活文化	助手	川村学園女子大学 生 活創造学部 生活文化 学科	学士(社会 学)								

令和4年度 教員の学位・業績等

生活創造学部 観光文化学科

氏名	職名	最終学歴	保有学位・分野	専門分野①	専門分野②	主たる担当科目①	主たる担当科目②	主たる研究業績等①	主たる研究業績等②	主たる研究業績等③	主たる研究業績等④
西川 誠	観光文化 教授	東京大学大学院人文科学研究科博士課程中退	文学修士	日本近代史	日本政治史	日本史概説(2)	日本史(1)	『日本政治史の新天地』(共著)(吉田書店, 2013年)	『史料を読み解く4 幕末維新の政治と社会』(共著)(山川出版社, 2009年)	『日本立憲政治の形成と変質』(共編著)(吉川弘文館, 2005年)	『山縣有朋関係文書』全3巻(共編)(山川出版社, 2004~2007年)
戸澤 純子	観光文化 教授	日本大学大学院文学研究科心理学専攻博士後期課程	博士(心理学)	知覚心理学	実験美学	心理学	情報処理	ポテンシャル知覚心理学(共著)(サイエンス社) 2017年	認定心理士資格委員会(編) 実験・実習で学ぶ心理学の基礎 (共著)(金子書房) 2015年	教育心理学 (共著)(弘文堂)2014年	心理学概説(共著)(啓明出版) 2014年
柳川 悦子	観光文化 教授	立教大学大学院ビジネスデザイン研究科ホスピタリティ・デザイン専攻 修士課程修了	経営学修士	観光マネジメント人材育成	観光インターンシップ	エアライン事業論	キャリア・プランニングⅣ(2)	科研基盤C 課題番号:24520583 報告書「アジア系外国人社員の早期離職を防ぐためのアクションリサーチ:文系総合職の場合」(共著) 早稲田大学日本語教育研究センター 平成27年3月	「アクティブ・ラーニング型のキャリア教育実践～企業の人財戦略『ダイバーシティ&インクルージョン』の学習体験を通じて」(単著)『観光ホスピタリティ教育 第7号』日本ホスピタリティ教育学会 平成26年3月	「日本のホスピタリティ産業におけるコーポレート・ユニバーシティの普及と進化」『第27回日本観光研究学会全国大会学術論文集』日本観光研究学会 平成24年12月	「インターンシップの補完プログラム可能性と課題～埼玉県版ジョブシャドウイングモデル事業の導入を通じて」(共著)立教大学紀要第14号 立教大学観光学部 平成24年3月
君島 俊克	観光文化 准教授	千葉大学大学院自然科学研究科博士後期課程修了	博士(学術)	環境教育学	観光地理学	地理学概説(1)	観光地理学	「マラウイ共和国における自然公園及び環境政策の発展過程」(単著)『人間と環境』VOL.41, NO.1, 平成27年	『観光地域社会の構築—多様な観光地域づくり—』(共著)(同文館)平成18年	「アメリカ合衆国国立公園局におけるパークレンジャー養成システム」(単著・査読有)『環境教育』Vol.14, No.1, 平成16年	「教養観光としての自然解説活動」(単著・査読有)『総合観光研究』, 第3号, 平成16年
小山 知子	観光文化 准教授	法政大学大学院キャリアデザイン学専攻 修士課程修了	修士(キャリアデザイン学)	ホスピタリティデザイン	キャリアデザイン学	ホスピタリティ入門	キャリア・プランニングⅢ(1)	「ライフ・キャリアの視点を重視した授業が大学生のキャリア意識・行動に及ぼす影響—ワーク・キャリアの視点を重視した授業との比較検証—」(共著)『駿河台大学教育研究第3号』pp.48-62, 2021年	「大学におけるライフ・キャリアの視点を重視した授業により身につく知識・能力は何か—ワーク・キャリアに主眼を置いた授業との比較検証—」(単著・査読有)『HOSPITALITY 第31号』日本ホスピタリティ・マネジメント学会 pp.47-56, 2020年	「小規模起業家としての女性のキャリア形成—子供を持つ元航空機客室乗務員の職業別特殊スキルを活かした事例—」(単著・査読有)『HOSPITALITY 第30号』日本ホスピタリティ・マネジメント学会 pp.47-56, 2020年	「Consideration of University Students' Motivation for Learning」(単著・査読有)『INTERNATIONAL JOURNAL OF JAPAN ACADEMIC SOCIETY OF HOSPITALITY MANAGEMENT』Vol.2, pp.17-26, 2013年
松井 浩	観光文化 准教授	青山学院大学大学院理工学研究科経営工学専攻博士前期課程修了	工学修士, 工学士	情報科学	ネットワーク利用技術	情報処理(1)(2)	情報メディア演習	【著書】『MS-WORKS機能百科』単著, 技術評論社	【著書】『MS-DOSテキストデータ料理学』共著, 翔泳社	【著書】『PC-98全生活の知恵』共著, 翔泳社	【論文】計量経済分析用アプリケーションTSPのインストール, 単著, 青山学院大学情報科学研究センター
江口 智子	観光文化 講師	早稲田大学大学院経済学研究科修士課程修了	修士(経済学)	金融論	フードツーリズム	観光経営学	キャリア・プランニングⅠ、Ⅲ(1)、Ⅳ(1)	「6次産業化による地域経済活性化の具体的な方策に関する研究—ワインツーリズムやまなしの特性 観光客の定量的分析—」(単著)昭和女子大学現代ビジネス研究所報告書, p3-12, 2015年.	「小規模ワイナリーの経営戦略に関する研究:山梨県のワイナリーにおけるテイスティングルーム・マネジメントの現状調査」(単著)日本フードサービス学会年報第23号, p114-117, 2018年.	「テイスティングルームの従業員プロフィールと職場内訓練に関する調査—山梨県のワイナリーを事例として—」(単著)昭和女子大学現代ビジネス研究所紀要, 第4号, p5-16, 2019年.	
山田 祐子	観光文化 講師	事業構想大学院大学事業構想研究科事業構想専攻修士課程修了	事業構想修士(専門職)	宿泊産業経営論	ホスピタリティ産業論	観光事業論	ホテル・マネジメント論	旅館人材のためのリカレント教育プログラムの考察—湯田中渋温泉郷人材開発協議会の実務人材確保・育成事業を事例に—(単著)日本観光研究学会, 2021年	観光従事者のためのリカレント教育についての展望と動向(単著)高崎経済大学地域政策学会「地域政策研究」第24巻第1号	インターンシップにおけるクラウドサービスによるコミュニケーションへの検討—インターンシップのためのコミュニケーションアプリによる測定と観察—(単著)日本観光研究学会, 2017年	日本旅館におけるベトナム人材の育成と登用の検討—外国人材支援システムの構築を目指して—(単著)日本観光研究学会, 2016年